

〒745-0034 周南市御幸通2丁目22
 防長本社 Eメール bocho@chugoku-np.co.jp
 中国新聞山口 Eメール chugoku@c-spice.co.jp
 情報サービス U R L http://www.c-spice.co.jp
 ☎0834(33)5605 FAX0834(33)5610

ホット通信

マンション暮らしが長かった僕は、日本家屋に強くあこがれていました。初めて今の家を訪ね、中庭で腰を下ろした時のことです。なにかしら懐かしく、まるで子どものころに連れ戻されたような気分になりました。十七歳までスリランカにいた僕に、そんな感情がわきおこるのは

いしゃの やまぐち日記 ⑩

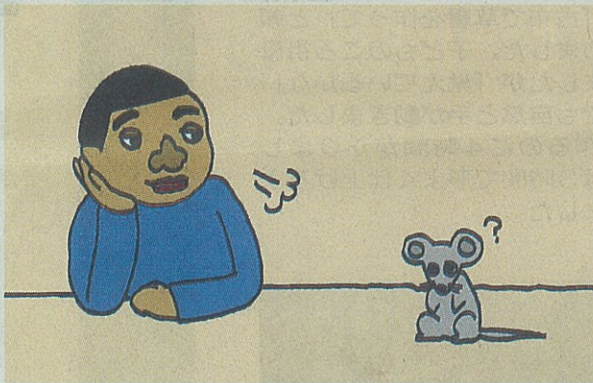
実に不思議な体験です。すくなく、借りのことを決めました。

新居が日本とは何かを教えてください。あると、その時はちっと思いませんでした。なにを隠そう、この家は不便なところがたくさんあります。トイレに行くには、いったん外に出ないといけません。老朽化した

教育・文化

異郷学ぶ絶好の教科書

あこがれの日本家屋暮らし



イラスト・石井彩子

風呂は、水漏れがします。

があるようです。

夏は、確かにひんやりとして快適だが、冬は正直、効率が悪い。隙間が多いので全

体の暖めようとせず、こたつなどで部分的に暖をとるのが賢明だと悟ったのは、二

度も、僕はこの家が大好きです。日本の友人が遊びに来

て、庭を見ながら、なかなか腰を上げません。日本人も、この家に何かひかれるところ

目に見える友達にネズミが

この前、夜遅く帰宅した時、酔っていたため、一階のソファで横にな

ウトウトしそうな瞬間、目が覚めました。なんと、二階の屋根裏

でネズミがすごい音をたてて走りだしたではありませんか。

しばらくたっても静まる気配がないので、少し腹立

たしくなって二階に帰れないと、ホームシックに駆けつける

と、とんでもない状況が目に入りま

した。帰宅してす

ぐ二階に行き、ベッドの横の電気スタンドをつけたこと

をすっかり忘れていました。何かの拍子でスタンドが布団

の上に倒れたのでしよう。過熱した布団から煙が出ていた

のです。

幸い発見が早く、大事に至りませんでした。ネズミの

「大行進」がなかったらと思うとぞっとしました。迫る危険をネズミが教えてくれたの

です。同居の仲間に大きな義理ができました。

僕は毎朝、台所の水の最初の一杯を神棚にお供えています。翌朝には、いつもコップの水が減っています。この家にはいろんな神様がすんで

Copyright © 2006 by Chugoku-Nippon Publishing Co., Ltd. All rights reserved. Printed in Japan.